

歴史地理学関係文献目録（一九六〇・一一一二）

芥川 竜 男 共編  
中島 義一

まえがき

この目録は表題にもあるごとく、一九六〇年において、歴史学地理学関係刊行物（諸雑誌・紀要・論叢など）に発表された諸論文のなかで、歴史地理学に関係深いと考えられるものを選んだ。これをさらに件名別・地方別に分類することも考えたが、一応、発表された文献毎に列記し、その順序も不同とし、列記するに止めた。またあくまでも管見にふれた範囲に止まっているので、多くの脱落があることを懸念する次第である。

今後本紀要において、会員諸氏の御批判と、御協力により理想的な文献目録が出来ることを期待して止まらぬ。

なお記載は、発表誌名、筆者名、論題、（ ）の中は掲載号数、の順序によって記した。

また地方における諸学会、紀要などについては、その発行機関名も併記しておいた。

史学雑誌

有元 正雄 山林原野における地租改正（六九編九号）

歴史学研究

山口 徹 小浜・敦賀における近世初期豪商の存在型

態―幕藩体制成定期に関する一考察―（二四八号）

四八号）

小野 正雄 寛文期における中継商業都市の構造―越前

敦賀港にかんする一考察―（二四八号）

中丸 和伯 戦国大名論―村落構造を中心として―（二四〇号）

歴史地理

新城 常三 本山参詣考

倉田 康夫 伊勢国宮川沿岸の条里遺構について―度会

郡を中心として―

荒居 英次

郷村制と漁村

川名 登

關東に於ける河川運輸機構の成立（以上四編八十九卷四号）

地方史研究

川名 登

上利根川水運史の問題―上州倉賀野河岸の発展―

山崎 謹哉

検地と土地所有からみた武州入間郡大塚新田の地域構造

大橋 哲博

薩藩における金山経営の諸仕法（以下三編四三号）

落合 長雄

地名による莊園復原その他―神戸地方の莊園時代―（四五号）

柴田 貞一

尾張鉄道

寺島 敏治

北海道太平洋沿岸漁村における階層分化―釧路市柱窓の干場所有の推移を中心として―（以上二編四六号）

駒井鋼之助

どうして赤瓦は生れたか―三州瓦沿革史の一節―（四八号）

日本 歴史

山田 武麿

北関東山村における家抱制の解体過程（一

三九号）

荒川 秀俊

夏の西日本の旱害（一四二号）

新行 紀一

越中一向一揆の諸前提（二四二号）

丸山 雍成

宿財政と村政（一四六号）

佐伯 有清

条里制研究文献目録（昭三四・一二現在）（二四八号）

堅田 精司

明治二〇年代における富裕小作の実態（一四九号）

歴史 評論

中丸 和伯

歴史地理学の諸問題―地理学の独自性と有効性について―（一二三号）

歴史 教育

池田 史郎

佐賀城下町の古地図について（八卷一二号）

土地制度史学

古島 敏雄

明治初期産業発展の一断面―「明治七年府県物産表」による検討―（九号）

社会経済史学

長岡 新吉

三重県一農村における地租改正過程

江波戸 昭  
土井喜美子

諏訪製糸業における産業資本の形成過程（以上二編二六卷三号）

国史学

竹内 秀雄 江戸町人の請負新田と請負渡舟について

多摩川周辺を中心に(七四号)

岩手史研究(岩手史学会)

名取川溢男 天保年間の一戸市日の物価

阿部 和夫 養蚕を中心としてみた小島谷・金田一の農業の変質(以上二編三二号)

板橋 源 秋田城の位置に関する諸説

山田 安彦 東北日本における歴史的フロンティアの特質(以上二編三三号)

甲斐史学(甲斐史学会)

飯田 文弥 近世甲州葡萄の生産構造と流通(上・下)

—甲州上岩崎村を中心として—(九・一〇号)

齋藤 文吾 甲州市川大門及河内地方の製糸業について(一)(十号)

歴史研究(茨城大学史学会)

瀬谷 義彦 水戸藩の紙専売仕法に関する一考察(下)

(二七号)

野上 平 水戸藩における澆灌水利について—久慈川

筋辰之国用水の場合—(二九号)

岐阜史学

中野効四郎 関の刃物

村上 貢 東濃地方における窯業史の一考察

加藤 隆 近世多治見における陶業

上島 正徳 近世における美濃の林業(以上四編二七号)

日置弥三郎 近世における高山の宿屋について(二八号)

史窓

村山 修一 葛川明王院とその住民の歴史—日本山村史の一形態—(一六卷)

史林

鯖田 豊之 封建社会における領主と村落—中世都市研究の反省—(四三卷二号)

続日本紀研究

大井重二郎 大和国添下郡京北班田図について(六卷一〇・一一合併号)

大井重二郎 京北班田図四条坪付の解説について

虎尾 俊哉 西大寺藏京北班田図に関する補正的私見(以上二編七卷三号)

歴史研究(愛知学芸大学歴史学会)

澄田 正一 地域研究と農業起源の問題

杉崎 章 知多半島における先史時代の土地利用と地

形の変遷（以上二編七号）

兵庫史学（兵庫史学会）

酒井 一 近世における商業的農業と特産地帯形成―

とくに西摂地方の商品作物を中心に―（二

二号）

広山 堯道 揚浜から入浜へ―近世的製塩業の形成―

（二二五号）

越 中 史 壇

中山 有志 越中国新川郡の条里遺構と二三の考察

石原 与作 越中瀬戸焼の創始期に就いて（以上二編二

〇号）

九州 史 学

新城 常三 貨幣の流通―交通発達の一前提！

石井 利人 幕末における大庄屋の土地所有について

（以上二編一四号）

文 化（東北大学文学部）

家坂 和之 山中郷笹町の社会構造（二三卷四号）

佐々木文賢 戦後東北地方史研究の動向と成果（二四卷

一号）

東北経済（福島大学経済研究所）

庄司吉之助 近世養蚕業発達の特徵―養蚕技術と経営規

模について―（三五号）

桐朋女子学園紀要

小池 暉一 東京西郊における農村変容の二形態（七

号）

成蹊大学政治経済論叢

関島 久雄 甲武鉄道二三の疑問点を解く（一〇卷二号）

郷土よこはま（横浜図書館郷土資料室）

荒畑 寒村 明治三〇年代の横浜を語る

中丸 和伯 横浜市域史料（8）

石井光太郎 吉田新田農地解放一件（以上三編一九号）

群 馬 文 化

丸山 知良 足尾線開通前後（四卷十一号）

伊那路（上伊那郷土研究会）

平沢 清人 明治初年天竜川通舟（時又河岸）（四卷一〇

号）

名古屋大学文学部研究論集

安藤憂一郎 庚甲・念仏講集団と村落組織―岐阜県恵那

郡明智町における調査結果―（二四号哲学

（八））

同志社大学経済論叢（同学会）

岡 光夫 城下町商業の推移（一・二）（一〇卷二四号）

## 大阪大学文化部紀要

喜多野清一 甲州山村の親方子方―榎原村大垣外のデル

井とオヤブン・コブン―(七号)

## 経済研究(大阪府立大学経済学部)

黒羽兵治郎 奈良街道の駅村とその助郷(一六号)

## 大阪市大論集

木村 武夫 淀川治水をめぐる領主と農民(一)―江州勢田

川浚一件―(二九号)

木村 武夫 近世中期における土地所有の動向―河内国

次田郡真一番下村の事例―(二八号)

## 関西大学経済論叢(関西大学経済学会)

市原 亮平 移民母村の漁業構造と人口問題―和歌山県

東牟婁郡太地町の実態調査報告(三)―(一

〇巻二号)

## 人文研究(大阪市立大学)

渡辺 久雄 美濃国抄紙考―その立地の歴史地理―

村松 繁樹 手取川扇状地の村落居住形態―特に礪波平

野との比較―(以上二編一―一卷二号)

## 布施市史紀要

黒羽兵治郎 奈良街道の駅村とその助郷(五)

## 越佐研究(新潟県人文化会)

田村 忠雄 新田開発村における村の一形態(一六号)

## 福井大学学芸学部紀要

佐久 高士 わが国の農村の發達と変貌―坂井郡の場合

―(一九号)

## 金沢大学法文学部論集(哲学史学編)

水上 一久 寛政年間越中石動宿における宿統仕法

野間 三郎 能登島の石垣田―揚浜塩田の形態変化の形

齋藤 晃吉 式―(以上二編七号)

## たたら研究(たたら研究会)

定本 正芳 美作西北部の鉄山業と地域社会の変貌(そ

の二)(四号)

## 学術紀要(岡山大学法文学部)

河野 通博 島嶼經濟の変質過程―瀬戸内海島嶼部にお

ける半農半漁村の經濟地理学的研究(第二

報)―愛媛県越智郡関前村岡村島の場合―

(二四号)

## 芸備地方史研究(芸備地方史研究会)

小笠原範夫 山地集落の移動(三四号)

## 郷土研究(佐賀県郷土研究会)

原口 静雄 伊万里湾の復原(一〇号)

## 文科報告(鹿児島大学)

五味 克夫 中世開發漁村の変遷―若狭田島浦の場合―

(史学編五集)

立命館文学

水谷 清三 近世京都の材木輸送(一八一・一八三号)

金沢大学教育学部紀要

矢ヶ崎孝雄 白山麓白峰村の歩荷(八号)

地理学評論

江波戸 昭 明治前期の地主制と産業資本(三十三卷一

号)

井上 修次 地割の進展(同二号)

当麻 成志 天竜河岸の一農村における宗教受容と地域

構造の關係(同四号)

川崎 敏 幕末より明治初期における尾西機業の地域

形成(同六号)

南 智 児島湾干拓地の土地改良と農村構造(同八

号)

千葉 徳爾 豊後水道沿岸における急傾斜階段耕地の成

立(同九号)

松本 豊寿 山口と駿府における幕末期の封建首都遷移

に伴う都市域構造の諸問題(同九号)

人文地理

水津 一朗 耕区制と条里制

長井政太郎 飛地の問題

川崎 茂 飛驒神岡鉱山と近代化と地域の対応(以上

十二卷一号)

木村 辰男 湖東平野中部における町の地域的性格(同

二号)

矢ヶ崎孝雄 神通川筋飛越間の江戸末期における商品流

通

池野 茂 裏六甲の道路等と宿駅生瀬の動向

大脇 保彦 土佐における近世初期村落について

斎藤 晨二 清末に始まる中国東北部の開拓と移民(以

上同三号)

高橋 正 中世イスラーム地理学再評価への試み(同

四号)

西本 珠夫 西摂平野環濠集落のスケッチ

玉置 哲郎 山間部の助郷村の問題(以上五号)

堀内 義隆 奈良県平群谷の灌漑水利について

大山 微真 大井川中流志太山地に対する藤枝商圏の消

浅井 治平

池田 敏夫

大島 襄二 黒江塗の伝統を担う人々(以上同六号)

新 地 理

木村東一郎 近世村絵図の歴史地理学的研究第一報  
 本宮健次郎 愛媛県桜井(今治市)の漆器行商(以上八

巻三号)

小栗 容 近代村落成体以前における入会林野の解体  
 高 晶 子 (その二)(八巻四号)

大田 晃舜 江戸時代における越後牧村の戸口変遷と開

発過程(九巻一号)

歴史地理学紀要Ⅱ「地園の変貌」

小野 忠熙 先原史地域に関する諸問題

三友国五郎 縄文中期の集落

浅香 幸雄 国府の位置と相模国府の三遷

中丸 和伯 中世社会の展開と地域の変貌

池浦 正春 実証的研究を通じてみた歴史地理学的地域

とその変貌

田中 豊治 三陸常磐の漁業地域の変貌

矢ヶ崎孝雄 白山麓白峰村における明治大正期製糸業の

変貌

稲見 悦治 港都神戸の都市化と海岸線の変遷

菊池 一雅 フランスの近代化と地域の変貌

谷岡 武雄 フランス学派と歴史地理

辻田右左男 アメリカ歴史地理学の展望

千葉 徳爾 民間伝承のもつ機能の変化と民俗周圏論

鏡味 完二 歴史地理の研究に対する地名学の寄与(以

上二号)

地名学 研究

鏡味 完二 朝鮮における里・洞を語尾とする集落名

(十三号)

鏡味 完二 アメリカ合衆国における地名の發達

美濃 晃順 ナニワ地名考(以上十四号)

山田 弘道 続地名から見た国府(十四・十五号)

日高 次吉 宮崎県西都原の地名の考(十五号)

秋 地 理

工藤吉次郎 藩制時代における林業と鉦山業との関連に

ついて(七号)

徳島大学文学部紀要

福井 好行 阿波の国府とその附近の条里(九巻)

神戸大学文学会研究史学篇

稲見 悦治 姫路城下町の地域の形成と地域構造(二十

二号)

広島大学文学部紀要

米倉 二郎 条里施行の技術

- 高重 進 大田庄における古代的村落の崩壊(十七号)  
 福島大学学芸学部論集
- 安田 初雄 奥州相馬の所謂妙見初地の牧について(十卷一号)  
 福島地理論集
- 安田 初雄 奥州相馬の所謂妙見神馬の牧について(三号)
- 東京教育大学地理研究報告
- 浅香 幸雄 東海道戸塚宿場町の成立(四号)  
 専修大学論集
- 山崎 謹哉 関東近世村落の若干の地理学的考察(二十三号)
- 愛知学芸大学地理学報告
- 水野 時二 西美濃の条里遺構とその歴史地理学的考察(十五・十六号)
- 岩手大学学芸学部研究年報
- 山田 安彦 条里研究の歴史地理的意義(十六卷)
- 史 林
- 押野 昭生 地理的認識過程よりみたロシアと北東アジア(四十三卷六号)
- 武蔵野
- 松井 芳郎 江戸時代天領下における香用水と水車の配達について(三十九卷一・二・三号)
- 高 梁 川
- 藤沢 晋 宿場町矢掛(十号)  
 研究集録(日大二高)
- 中島 義一 明治十九年版東京全図を読む(二二号)  
 百万塔(製紙博物館紀要)
- 次山 信男 福島県会津新郷紙産地の変貌(十一号)  
 埼玉大学紀要(社会科学篇)
- 三友国五郎 関東地方の条里(八卷)
- 村本 達郎 関東平野西部の条里遺蹟(八卷)
- 史 苑
- 中田 栄一 機業圏の地理的基底、関東地方における事例から(二十一卷二号)
- 駿 台 史 学
- 青山・遠藤・杉原 耶馬台国論
- 志田 諄一 古代における北陸について(以上十号)  
 文科報告(鹿児島大学)
- 五味 克夫 讚州塩飽島の人名制と漁業制(一)(九号)  
 地理学報(大阪学芸大学)
- 内田 秀雄 九山八海岩
- 大越 勝秋 猪名川左岸地域の条里制補遺(以上九号)